記者発表資料

令和７年９月26日
秋田河川国道事務所
酒田河川国道事務所

《国道７号遊佐象潟道路》

国道７号遊佐象潟道路の開通時期の見直しについて

○　国道７号遊佐象潟道路(延長17.9㎞)のうち、小砂川IC～象潟IC間(延長7.3km)においては令和７年度内の開通、遊佐鳥海IC～吹浦IC間(延長2.3km)においては令和８年度内の開通を目指し、工事を進めているところです。

○　このうち、小砂川IC～象潟IC 間においては、当初想定していない硬い岩盤(硬岩)が確認され、また、遊佐鳥海IC～吹浦IC間においては、地山から想定以上の転石が出土し、硬岩掘削や転石処理に時間を要している状況です。

○　現在これらの対策を進めておりますが、今後の工事工程を精査した結果、工事が順調に進んだ場合でも、小砂川IC～象潟IC間は『令和８年度』、遊佐鳥海IC～吹浦IC 間は『令和９年度』に開通時期の見直しが必要となりましたので、お知らせいたします。

（未開通区間のIC名称については仮称です）

■開通時期の見直し

《現在》		《見直し後》
＜小砂川IC～象潟IC間＞ 令和７年度開通予定	⇨	＜小砂川IC～象潟IC間＞ 令和８年度開通予定※
＜遊佐鳥海IC～吹浦IC間＞ 令和８年度開通予定		＜遊佐鳥海IC～吹浦IC間＞ 令和９年度開通予定※

※工事が順調に進んだ場合

記者発表先：秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、山形建設業界専門紙

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所　電話：018-823-4167(代表)
副所長（道路担当）　長濱谷　和典　（内線205）
国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所　電話：0234-27-3331(代表)
副所長（道路担当）　千葉　満也　（内線205）

遊佐象潟道路の工事状況（遊佐鳥海IC～象潟IC）

遊佐象潟道路　延長17.9km

＜開通時期の見直し＞
令和9年度開通予定※
※工事が順調に進んだ場合

＜開通時期の見直し＞
令和8年度開通予定※
※工事が順調に進んだ場合

延長2.3km　延長8.3km　延長7.3km



（起）山形県飽海郡遊佐町

（終）秋田県にかほ市象潟町

至秋田

至酒田

（仮称）吹浦IC

（仮称）女鹿IC

（仮称）小砂川IC

遊佐鳥海I.C

象潟IC

（仮）女鹿IC橋（下部工完）
延長52m

（仮）観音森跨道橋（下部工完）
延長72m

（仮）大砂川跨道橋（完成）
延長85m

（仮）大砂川橋（完成）
延長99m

（仮）大道跨道橋（完成）
延長45m

（仮）奈曽川橋（完成）
延長225m

（仮）鳥海あかね橋（未着手）
延長19m

（仮）布倉橋（未着手）
延長122m

（仮）吹浦高架橋（上部工施工中）
延長1,741m

（仮）川袋川橋（上部工施工中）
延長146m

（仮）川袋小川橋（完成）
延長166m

（仮）市の沢川橋（完成）
延長87m

（仮）栗目木沢橋（完成）
延長89m

写真①　写真②　写真③

（仮称）吹浦IC周辺
（転石混じり土砂の掘削中）

川袋地区
（硬い岩盤の掘削中）

山形県　秋田県

開通済
事業中

▼（仮称）吹浦IC周辺における掘削状況（転石が出現）



▼川袋地区における掘削状況（硬い岩盤が出現）



▼川袋地区で出現した硬い岩盤



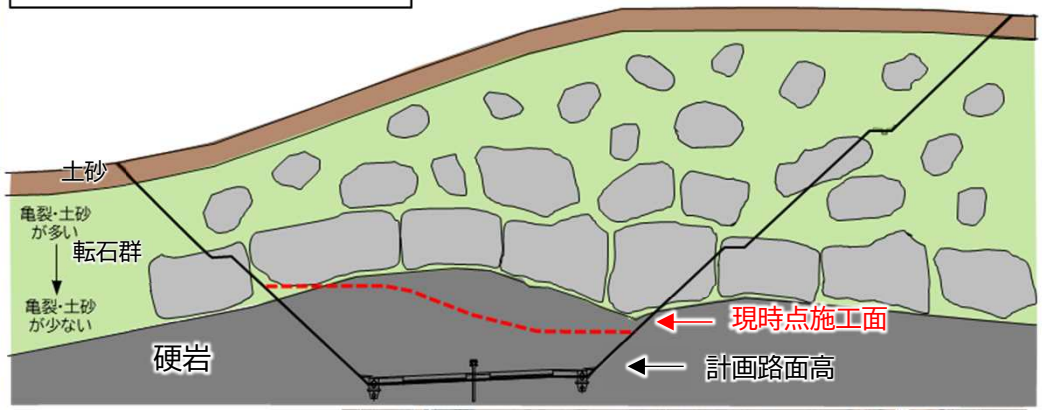
遊佐象潟道路の工事状況（川袋地区）

○川袋地区において、地山から当初想定しなかった硬い岩盤（硬岩）が出現。
○これまでは、ブレーカーにて容易に掘削できていたところ、出現した岩盤は非常に硬く、複数台のブレーカーを投入し掘削を進めているが、多大な時間と労力を要している状況。
○岩盤は計画路面高まで続くものと想定され、残る掘削作業が順調に進んだ場合でも、開通は『令和8年度』となる見込み。

＜川袋地区の全景＞



＜川袋地区の断面イメージ＞



＜掘削状況＞





➢ 川袋地区において出現した岩盤（硬岩）



➢ ブレーカー先端の摩耗状況



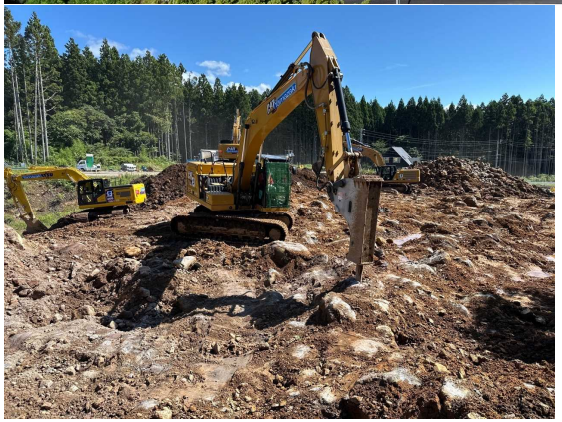
➢ 複数台の重機を投入するなど工夫しているものの岩盤は非常に硬く掘削に時間を要している

遊佐象潟道路の工事状況（（仮称）吹浦IC周辺）

○（仮称）吹浦IC周辺において、地山から想定以上の転石が出現。
○通常、転石については別の場所に運搬した後、小割作業を行うところ、出現した転石はとても大きく、運搬ができないため、埋まっている状態で小割する必要があり、複数台の重機にて掘削しているが多大な時間と労力を要している状況。
○今後も多くの転石が出現すると想定され、残る掘削作業が順調に進んだ場合でも、開通は『令和9年度』となる見込み。

<（仮称）吹浦IC周辺の全景>







➢ 掘削する地山から転石が出現（巨大な転石の出現）

<掘削状況>



➢ 大きい転石は掘り起こすことができず、埋まっている状態で小割する必要があり施工効率が低下

<掘削状況>



➢ 小割する機械を2台体制にするなど工夫しているものの転石処理に時間を要している